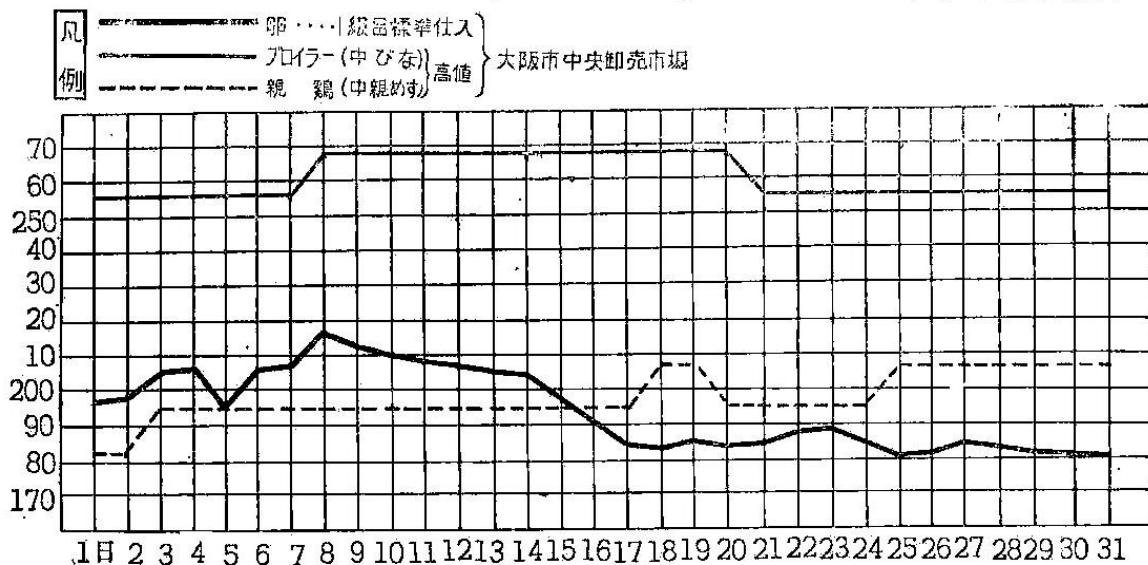


# 鶏卵鶏肉市況月報

(35年10月)

—大阪経済事務所—



平均 価格 (円当)	35年 10月		34年 10月		入 荷 推 定 数 量	大阪中央卸売市場			共同 出荷 実績	大阪中央卸売市場		
	卵	円	円	卵		プロイラー	親鶏	卵		プロイラー	親鶏	
	卵	193	213	岡山	1,080,000	25,000	32,500	経済連	440,000	—	—	
	プロイラー	261	200	香川	680,000	40,000	64,000	西大寺	8,400	—	—	
	親鶏	198	150	大阪	1,130,000	60,000	96,000	美作	29,000	—	—	
				その他	1,210,000	90,000	160,000	養鶏加工連	—	12,000	—	
				計	4,100,000	215,000	352,000	計	481,400	12,000	—	

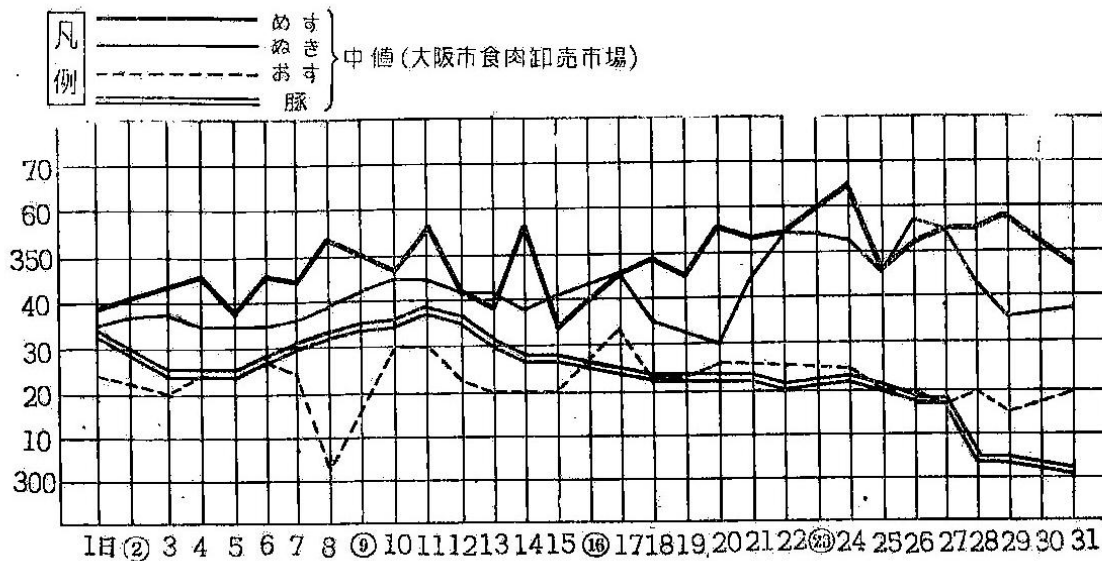
概況 鶏卵の出廻りは9月の5%増であったが、月間平均相場は円193で保合いであった。例年10月は9月より相場が高いのが普通であるが、本年は生産の増大によって出廻り過剰を来し、去年同期よりは円20円安と低調な商状となった。香港輸出も月間1万3千ケースで昨年同様の約1/3で低調であった。11月は冬物衣料等の手当て一般の消費が減少するので、気配は弱く円180円を中心の相場で推移するものとみられる。11月に入ってから毎日5~6屯程度の鶏卵がマヨネーズ用に納入されているがこの程度の数量では一般市場へは響いて来ない。

10月の食鶏の商況はなかなか活潑で入荷もかなり前月より増加したにもかかわらずよくこれを消化して中びなで円261円と前月より7円高、中親めすで198円と同じく18円高で好況であった。11月に入ってから入荷が一層増加しているのと消費の足踏みで弱含みの商況となっているが大きく崩れる気配は伺われない。

# 肉 畜 市 況 月 報

(35年10月)

大阪経済事務所



団体名	頭数	平均単価	枝肉量(kg)	売上金額			摘要	
				枝肉	原皮	内ぞう		
共同畜連	めす 6	346	1,328.7	459,810	210,000	150,565	3,630,475	
	ぬき 36	348	8,077.9	2,810,160				
	豚 4	301	294.8	88,760				—
経済連	◇ 21	318	1,415.6	450,698	—	11,324	462,022	
朝鮮人組合	◇ 12	307	658.1	201,810	—	5,260	207,070	
美作畜協	めす 13	335	3,021.1	1,013,440	155,000	108,747	2,576,957	
	ぬき 16	347	3,199.7	1,110,000				
	おす 2	330	575.9	189,770				
	馬 1	245	265.4	65,020				
豚 64	316	3,700.0	1,169,730	—	—	—	大阪畜産KK	
高粱畜連	めす 1	392	252.4	98,940	50,000	47,169	1,076,629	
	おす 9	327	2,695.7	880,520				
英田畜連	豚 10	325	502.5	163,280	—	4,020	167,300	

平均単価(格(相当)	35年10月	34年10月	と畜(大阪市場)頭数	牛	4,210
	めす	348円		317円	仔牛
ぬき	341	283	豚	5,865	
おす	322	270	馬	57	
豚	324	331	めん羊	8	

## 概況

10月は9月より牛において300頭、豚において900頭の出廻り増で、牛は概して商況に今一步活気なく弱保合いで、一方豚は月半ば一時反撥相場をみせたが、以後はジリ貧で相場は下る一方となって中物胚300円がらみとなって11月に入った。月間平均相場は中物胚324円で前月より52円安と大中に値が崩れて来た。年末までに牛肉2,700屯、豚肉1,800屯の輸入が行なわれるとのことであるが、牛はこれから本格的な需要期に入るので、気配はやや強くなるが、豚の気配はますます弱くなる。